

## 第9回夏期研究集会参加者のみなさんへ

### 会場へのバス便についてのお知らせ

2010年8月10日  
全商連付属・中小商工業研究所

第9回夏期研究集会の会場、川越南文化会館は、JR・東武東上線「川越駅」よりバスで約30分ですが、市営シャトルバスの本数が削減されたため、貸切バス（大型・55人定員）と「籠屋」（川越民商前会長の店）バス1号車、2号車（いずれも28人定員）を下記の通り手配します。

交通事情で定員が限られます。タクシーに乗り合わせてのご参加もご検討ください。なお、ご心配な方は事前に事務局にご相談ください。

#### 9月11日（土）

**午前：**JR・東武東上線「川越駅」西口→会場の「川越南文化会館」行き

〈第1便〉11：30 発 「籠屋」バス1号車（28人）、バス2号車（28人）

〈第2便〉12：00 発 貸切バス（55人）

☆ 会場は飲料水の自動販売機のみで周辺に昼食をとるところはありません。

☆ 昼食を済ませてバスに乗車するか、弁当を持参するようにして下さい。弁当は指定された場所で食べてください。

☆ 定員オーバーの場合や最終便に遅れた時は各自タクシーで乗り合わせして会場に来て下さい。なお、東武東上線「新河岸駅」（「川越駅」から約10分）から会場までタクシーも可能です。

**午後：**会場→JR・東武東上線「川越駅」

〈第1便〉17：00 発 貸切バス（55人）

〈第2便〉18：00 発 貸切バス（55人）（「川越駅」～「籠屋」経由～「本川越駅」）

〈籠屋便〉研究者交流会参加者（所要約30分）

17：10 発 「籠屋」バス1号車（28人）、2号車（28人）

#### 9月12日（日）

**午前：**JR東武東上線「川越駅」西口→会場の「川越南文化会館」行き

〈第1便〉8：00 発 貸切バス（55人）

〈第2便〉8：20 発 「籠屋」バス1号車（28人）、バス2号車（28人）

**午後：**会場→JR・東武東上線「川越駅」→西武線「本川越駅」

〈第1便〉12：00 発 貸切バス（55人）（「川越駅」～「本川越駅」）

〈第2便〉14：00 発 貸切バス（55人）（「川越駅」～「本川越駅」）…運営委員会後

\*なお、埼玉県連主催で川越「蔵のまち見学ツアー」を行います。

参加費：昼食付2000円、先着50人。地元のボランティアガイドが案内します。

●川越「蔵のまち見学ツアー」にご参加ください★

主催：埼玉県商工団体連合会、規模：50人、(川越事務局員が2人同行します)

☆参加費は1人2000円(昼食代1500円+ガイド謝礼200円他)

〈行程〉

12:00 発 「籠屋」バス1号車(28人)、バス2号車(28人)

12:30 「籠屋」にて昼食

13:40 川越・喜多院へバスで送ります(観光ガイド合流→蔵のまち見学)

15:40 解散(「川越駅・予定」)

★参加申込は参加申込と一緒に受け付けます。

〆切9月8日：参加費は当日、集金します。

蔵の街・川越紹介<川越大師喜多院>--\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---

川越大師喜多院は、仙芳仙人の故事によると奈良時代にまでさかのぼります。寛永15年(1638)1月の川越大火で現存の山門(寛永9年建立)を除き堂宇はすべて焼失したため、3代将軍徳川家光公はすぐに復興にかかり、江戸城紅葉山(皇居)の別殿を移築して、客殿、書院等に当てました。家光誕生の間、春日局化粧の間があるのはそのためです。その他慈恵堂、多宝塔、慈眼堂、鐘楼門、東照宮、日枝神社などの現存の建物を数年の間に相次いで再建し、それが今日文化財として大切に保存されています。



五百羅漢の見学には多くの観光客が訪れます。(喜多院HPより)

蔵の街・川越紹介<蔵造り>\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---\*---

川越の土蔵造りの店舗は、いわゆる「蔵造り」として有名です。火事の類焼を防ぐための巧妙な耐火建築で、江戸の町家形式として発達したもの。蔵造りの建築物が並ぶ一番街は、今の東京では見ることのできない江戸の面影をとどめています。1999年12月には国の重要伝統的建築物群保存地区に選定され、2007年1月には「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されました。

川越市は1989年、景観条例を定め、指定地域の計画の策定や景観上重要な価値が認められる建築物等を保存し、「川越らしさ」を継承し、魅力あふれる快適なまちを形成するため、一定の規制と助言・指導を行っています。



寛政4年(1792)に造られた、明和2年(1765)に焼けた、江戸26年(1699)に焼けた、川越商人の蔵造り。火災の際も焼けて残った。川越商人の蔵造り。火災の際も焼けて残った。川越商人の蔵造り。